

2-3. 側面衝突時の頭部傷害発生の事例調査

背景・目的

車両相互の側面衝突事故において、死亡重傷事故が発生した際の損傷主部位を分析した所、死亡重傷事故時の損傷主部位は頭部及び胸部であることが示されている。特に、事故での死亡原因に着目すると、損傷主部位は頭部が最も多い事が示されている。

そこで、側面衝突時の頭部傷害に着目し、マクロ調査から、単独事故も含めた、側面衝突事故の概要の把握、マイクロデータからは、衝突速度及びバリア換算速度、負傷状況、傷害程度別のバリア換算速度等についての調査を行った。事件事例からは、カーテンエアバッグおよびサイドエアバッグ等の安全デバイスによる、被害軽減が見込まれる例と、見込まれない例をあげた。

概要

(1) マクロデータ分析

- ・ 四輪車 乗車中の事故調査。
- ・ 側面衝突事故調査。
- ・ 側面衝突事故詳細調査

(2) ミクロデータ分析

- ・ データの抽出
- ・ 事故データの分析
- ・ 事例調査

今後の課題

マイクロ調査から、頭部傷害の事件事例を調査し、頭部傷害の加害部位及びメカニズムを明らかにすることを目的としたが、膨大な情報量のため、整理しきれず、被加害部位の表を作成するにとどまった。今後、引き続き各事例ごとに深く調査を行いたい。